



## 冬休みを利用して ～廊下の汚れ落とし～

子どもたちのいない冬休みを利用して、用務員の鈴木さんが廊下の汚れ落としをしてくれました。なかなか普段では行いづらい作業で、寒期中、水を使う作業でも丁寧に行ってくれました。おかげでピカピカになりました。きれいになった校舎で頑張る子どもたちの姿が楽しみです。感謝しかありません。

子どもたちと直接的な関わりは少なく、なかなか気づきづらいかもしれませんが、間接的に学校を支えてくれている人はたくさんいます。広い視野をもち、支えてくれている人に気づき、感謝の心をもてる子どもたちに育っていったと願っています。

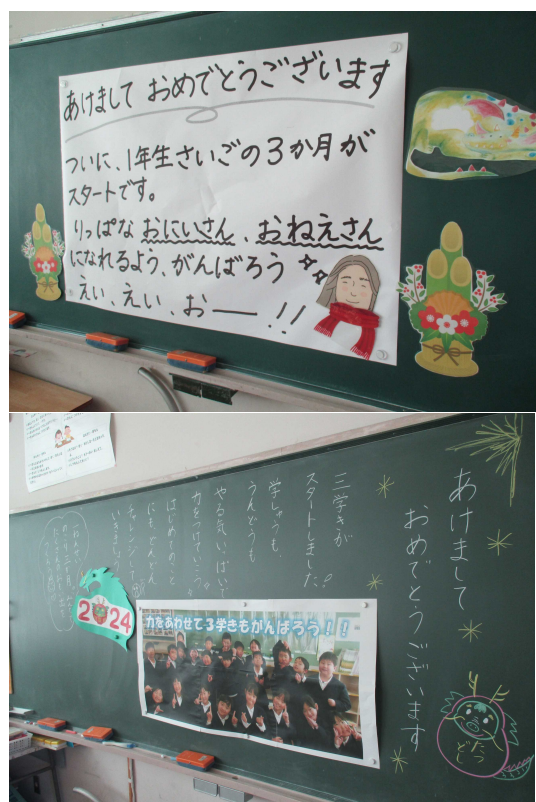


## 子どもたちを迎えるにあたって ～子どもたちのやる気をしぼませない + 生活のリズムを取り戻す～

子どもたちが教室に入るとまず、目に飛び込んでくるのが黒板。9日3学期開始の日のどの教室の黒板にも、子どもたちを温かく迎え、新年／3学期への思いを膨らませるような言葉が書かれていました。

子どもたちは冬休みを終え、新しい気分で学校にきています。「新規一転 頑張るぞ」という気持ちが少なからず芽生えています。学校は、この気持ちを特に大事にし、子どもたちの前向きな気持ちに寄り添っていきます。

ただ、短い3学期。のんびり構えているわけにはいきません。いつまでも冬休みの延長のような気分で過ごしてはあつという間に時間だけが過ぎていってしまいます。生活リズムを取り戻し、「学校モード」に切り替えることが必要になります。そのためには、規則正しい生活が大事になります。特に家庭においては、早寝早起きの習慣、睡眠時間の確保をお願いします。



## 能登半島地震から

連日、能登半島地震の報道が流れてきます。映像を見ると、東日本大震災を思い出す保護者の方も多いのではないでしょうか。この機会に、是非、子どもたちに自然災害の恐ろしさ、家庭での避難方法などについてお話しいただければと思います。当たり前に見えることでも、一瞬にして、当たり前でなくなることがあることを実感している保護者皆さんから、「生の声」を子どもたちに届けてください。

## 保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または [assist.nihonmatsukita-c@fcs.ed.jp](mailto:assist.nihonmatsukita-c@fcs.ed.jp) まで）～

..... 切 り 取 り 線 .....

